

# 平成27年度内閣府 地震・津波防災訓練 【愛媛県西予市】

実施報告書  
(概要版)



 内閣府  
Cabinet Office, Government of Japan

11月5日は津波防災の日



しんじょうじ

ちっちゃいおっさん

ふなっしー

くまモン

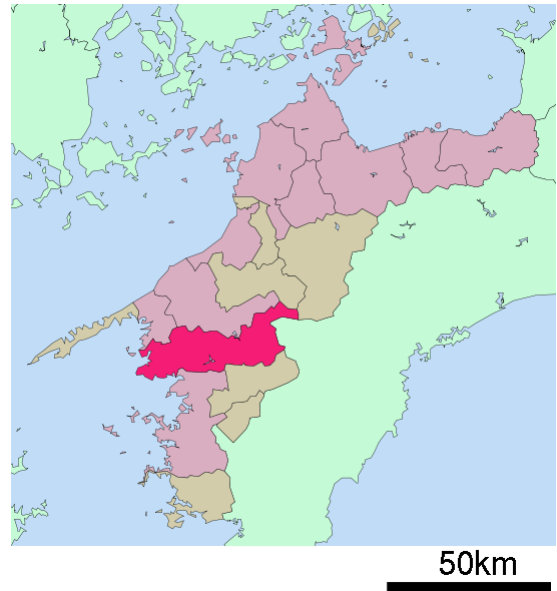
みいちゃん

津波防災 ひろめ隊  
2015-2016

わたしたちご当地キャラクターが、津波防災の取り組みを多くのみなさんにひろめるお手伝いをします。

## 愛媛県西予市について

西予市（せいよし）平成16年4月1日、東宇和郡の明浜町、宇和町、野村町、城川町及び西宇和郡三瓶町の5町が合併して誕生した人口40,426人（H27.12月末）、面積514.79km<sup>2</sup>のまちです。地勢は変化に富み、宇和海に面するリアス式海岸部、県南部の穀倉地帯でもある内陸盆地部、四国山地のカルスト台地につながる山間部と特色ある地域性を有し、その海拔高低差が1,400mに及ぶため、温暖で日照に恵まれた柑橘地帯から冷涼で冬季には積雪する酪農地帯まで、多様な気候と景観を有しています。



出典：西予市ホームページ

## 訓練概要

- 訓練想定：11月8日午前8時に、南海トラフを震源とするM9.1の大規模な地震が発生、西予市では震度7を記録。地震発生直後から大津波警報が発表された。西予市は、地震発生後ただちに災害対策本部を設置するとともに、住民に対し、防災行政無線により津波からの避難を呼びかけた。西予市沿岸地域では、53分後に5m以上の津波が押し寄せ、家屋流出や浸水等の被害が発生した。
- 実施日時：平成27年11月8日（日）08：00～12：30
  - シェイクアウト訓練 08：00～08：05
  - 津波避難訓練 08：05～09：00  
（孤立住民輸送訓練・救出救助訓練を含む）
  - へりによる負傷者救助訓練 09：30～11：00
  - 研修会・講演会 09：30～12：30
- 主催：内閣府、西予市
- 参加者数：約2,800名（うち、津波訓練参加者数2,500名）
- 参加機関：三瓶地区各自主防災会（19地区）、西予市消防団、西予市消防団三瓶方面隊、愛媛県警察本部、西予警察署、八幡浜地区施設事務組合消防署第三分署、陸上自衛隊第14旅団第14特科隊、海上保安庁第六管区本部・宇和島海上保安部、西予市社会福祉協議会等

## 当日の訓練内容

### 8:00～ シェイクアウト訓練

自らの命は自ら守るという「自助」の取組みに重点を置き、訓練参加者全員が、緊急地震速報を合図に、それぞれの場所で一齐に安全確保「まず低く、頭を守り、動かない」を行った。

### ▼三瓶地区（みのり園）



### 8:05～ 津波避難訓練

防災行政無線による大津波警報の一齐放送を合図に、三瓶地区津波危険マップのとおり、地区内の津波避難場所に避難した。避難にあたっては、要支援者を介助しながら避難する姿も見られた。

### ▼津波避難場所への避難▼



### 09:30～ 孤立住民輸送訓練

下泊地区の主要な幹線が途絶した状況を想定し、海上からのアプローチにより、孤立した住民25名を安全な地区へ輸送し、市及び関係防災機関との連絡・調整要領について確認するとともに港湾施設に実際に着岸し、施設及び艦船能力について実証確認できた。

### ▼孤立住民乗船



### ▼巡視船から下船



### 09:30～12:30 研修会・講演会

住民自らが、緊急時の対応及び防災各種機材を体験、防災意識の向上と災害時の対応能力の向上が図られた。

また、語り部による講演会を行い東日本大震災の津波体験談を継承した。

### ▼心肺蘇生体験



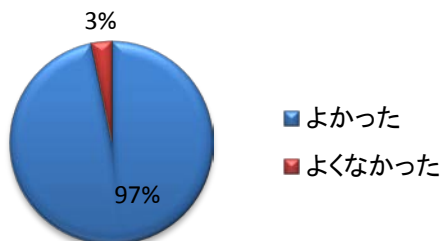
### ▼語り部による講演会



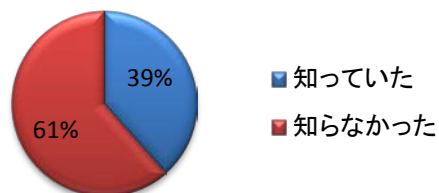
## アンケート結果

住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：251人）

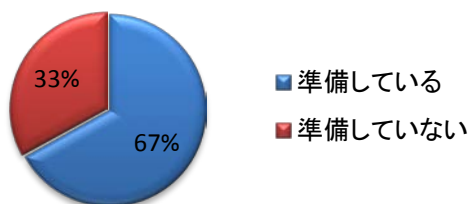
問 訓練に参加して、どう思いましたか？  
（回答数：251人）



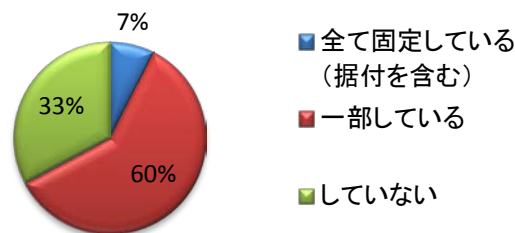
問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？（回答数：244人）



問 地震等に備えて、食料・水・非常用持出し袋等を準備していますか？  
（回答数：242人）



問 ご自宅の家具は固定してありますか？  
（回答数：241人）



## 訓練の評価

訓練当日は、天候が悪い中、西予市三瓶地区全域（19地区）住民は、従来から自主防災に対する意識も高いが当日も地区住民の3割以上（シイクアウト・津波避難訓練：約2,500/7,000人）が参加し、次のような意見があった。

このような訓練を積み重ねることにより、地域全体の繋がりで住民一人一人の命を守るという意識付けとなり、今後も自主防災組織が主体的に訓練に参画し、自らの地区を守っていくという意識の高揚を図れた。

### ●地区での他事業との連携

- ・平成27年度 災害時対応訓練事業（社会福祉協議会）との連携
  - ・愛媛県ワークショップ訓練（県南予津波被害防止支援事業）との連携
- 地域で暮らす住民、とりわけ高齢者や障害者など、援助を要する方々が災害時に安全に避難できる体制づくり推進のため、各主体や住民同士の繋がりを強化することができた。

### ●今後の取り組み

市長の講評において「避難路の整備や用具を整えることなど進めてきたが、ハード面の整備だけでは不十分、みんなで協力し合うことが大事」と協力して避難すること等、ソフト面の充実を図っていくことの大切さを呼びかけた。